



2019年11月8日

各位

会社名 中央化学株式会社

代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 近藤 康正

(コード番号 7895)

問合せ先 経営戦略室 室長代行 佐々木 賢太  
役職 氏名

電話 048-540-2825

業績予想の修正ならびに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	26,700	300	200	100	円 銭 4.96
今回修正 (B)	24,743	607	309	241	11.98
増減額 (B - A)	△ 1,957	307	109	141	
増減率	△ 7.3%	102.3%	54.5%	141.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	26,492	162	△ 83	897	44.55

(2) 2020年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	23,600	100	0	—
今回修正 (B)	21,842	257	196	9.74
増減額 (B - A)	△ 1,758	157	196	
増減率	△ 7.4%	157.0%	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	23,158	62	1,026	50.95

## 2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績について、売上高は、販売ポートフォリオの変更等により予想よりも1,957百万円下回りましたが、オペレーション改革による業務効率の改善、機能製品、環境対応素材の市場浸透による利益率改善等により、営業利益は予想を307百万円上回る見込みです。また、為替相場の変動に伴い為替差損が219百万円発生したこと等により、経常利益は109百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は141百万円それぞれ予想を上回る見込みです。

また、当第2四半期個別累計期間の業績については連結累計期間と同様の理由により経常利益は157百万円、四半期純利益は196百万円、予想を上回る見込みです。

なお、現時点で通期の業績予想の修正はいたしません。

## 3. 営業外費用（為替差損）の計上

### 1) 営業外費用（為替差損）の内容

為替相場の変動により、当第2四半期連結累計期間において、為替差損219百万円を営業外費用に計上する予定です。

### 2) 業績に与える影響

業績への影響につきましては、上記の通りとなります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上